

平成21年度

クリーン仙台推進員活動報告

ごみ集積所排出実態調査結果

仙台市環境局廃棄物管理課

クリーン仙台推進員活動報告

～ごみ集積所排出実態調査結果～

目的

クリーン仙台推進員による「ごみ集積所排出実態調査」は、クリーン仙台推進員が地域の中で実際に活動していく手掛かりとして、自分の住む地域の「ごみ排出の実態」を把握することで、ごみ減量・リサイクルの推進、環境美化活動につなげてもらうこと、並びに、町内の皆さまと一緒に活動することで地域における環境意識の高揚が図られることを目的に実施した。市民と行政が連携して行う「100万人のごみ減量大作戦」の一環と位置づけており、その調査結果は以下のとおり。

調査員数及び調査力所数

クリーン仙台推進員 717 人，協力者 770 人，合わせて 1,487 人が 1,606 力所のごみ集積所の調査を行った。

調査日

平成 21 年 10 月・11 月でクリーン仙台推進員が選択した日

調査場所

クリーン仙台推進員の指定するおおむね 3 力所のごみ集積所

調査内容

ごみ集積所排出実態調査総括票

集積所の現況や、形状、また、利用者の世帯数及び地域性について記載。

ごみ集積所排出実態調査票

家庭ごみは、指定袋の数や、リサイクル可能な資源ごみの混入状況などを調査

プラスチック製容器包装は、指定袋以外の数や、容器包装以外のプラ製品の混入状況などを調査

缶・びん・ペットボトル類は、排出形態や、分別不良などを調査

紙類定期回収は、利用状況や認知度などを調査

集計結果（まとめ）

ごみ集積所については、98%以上のごみ集積所に鳥獣対策がなされており、良好な生活環境が維持されていることがうかがえる。

家庭ごみの排出状況については、約 97.7%が正しい指定袋で排出されており、クリーン仙台推進員及びクリーンメイトの皆さまの日頃の地道な活動とご努力が着実に実を結んでいる結果となったが、リサイクル可能な資源物が約 3 割以上混入している指定袋の割合は、前年と変わらない結果であった。

プラスチック製容器包装の排出方法については、一定の定着が図られているが、約 98%が正しい指定袋で排出されており、家庭ごみ同様、クリーン仙台推進員及びクリーンメイトの皆さまの活動の成果が表れた結果となった。

缶・びん・ペットボトルの排出状況は、昨年度と比較して調査項目全てにおいて改善が見られた。

紙類定期回収については、75.7%の集積所において、収集日に紙類が出されており、実施から 1 年が経過し、制度の定着が図られたことがうかがえる結果となった。

詳細は、以下のとおり。

1 調査概要

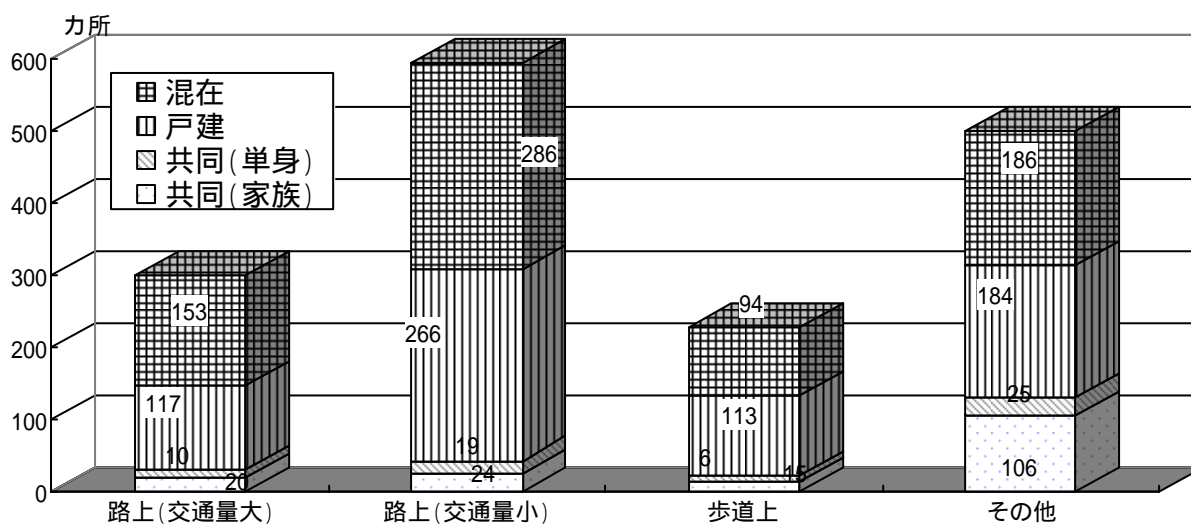
家庭ごみは月2回，プラスチック製容器包装，缶・びん等の資源物等，紙類は月1回を原則に平成21年10月と11月の2カ月間にわたりそれぞれの排出状況を調査した。

2 調査員数および調査力所数

行政区	調査員数			調査力所数
	推進員	協力者	合計	
青葉区	187	225	412	423
宮城野区	111	96	207	297
若林区	102	102	204	229
太白区	185	158	343	356
泉区	132	189	321	301
合計	717	770	1,487	1,606

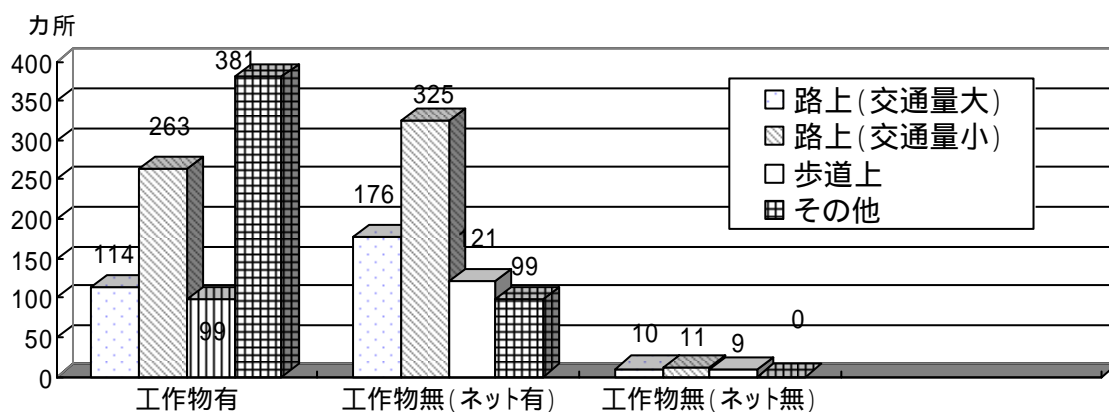
3 ごみ集積所の状況

設置場所と利用者



ごみ集積所の設置場所を 路上で交通量が多い場所， 路上で交通量が少ない場所， 歩道上， その他に分類し，利用者を 主に共同住宅に家族で住んでいる方利用， 共同住宅で主に単身者が利用， 主に戸建住宅の方々が利用， 利用者は混在， に分類した結果，上図の結果となった。

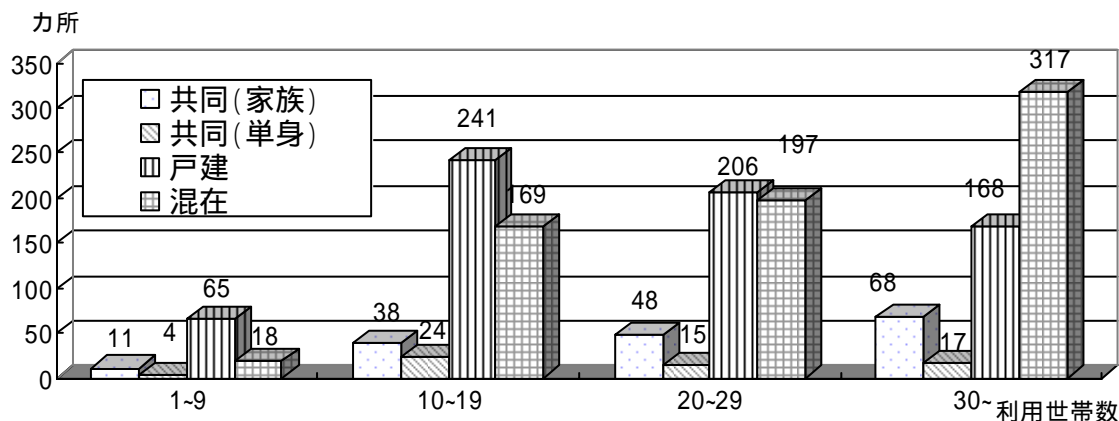
設置場所と鳥獣被害対策の実施状況



設置場所と鳥獣被害対策の関係では、上図のとおりおおむね対策が進んでいることがうかがえる一方、2%に当たる30カ所のごみ集積所では何の対策も講じられていないという結果であった。

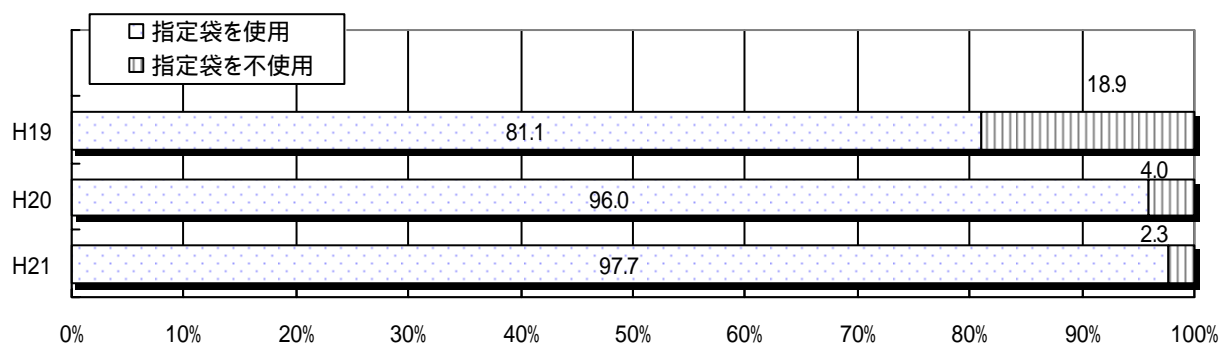
これらのほとんどは、路上・歩道上にあることから、狭あいであることや他地域の人たちからの不適正排出を防ぐ目的であえてネットを使用していないごみ集積所である。

利用者と利用世帯数

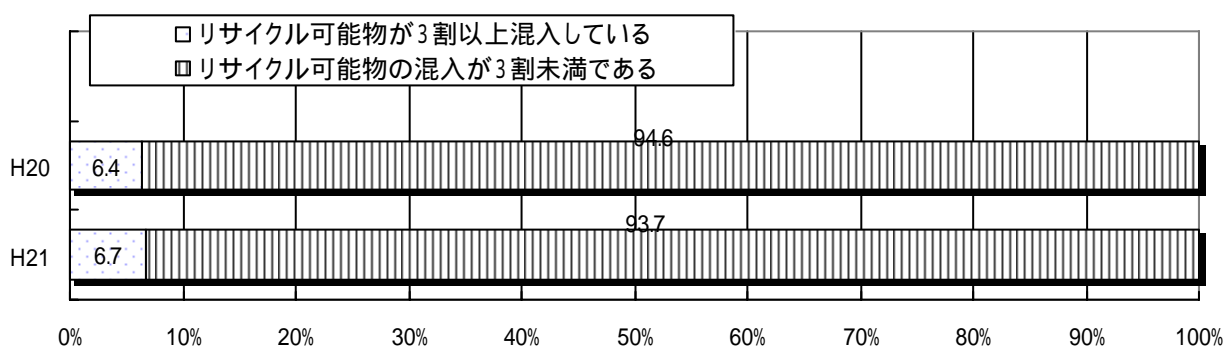


本市のごみ集積所の設置状況及び利用状況については、約65%が20世帯以上の世帯が利用する大型のごみ集積施設である。

4 家庭ごみの排出状況

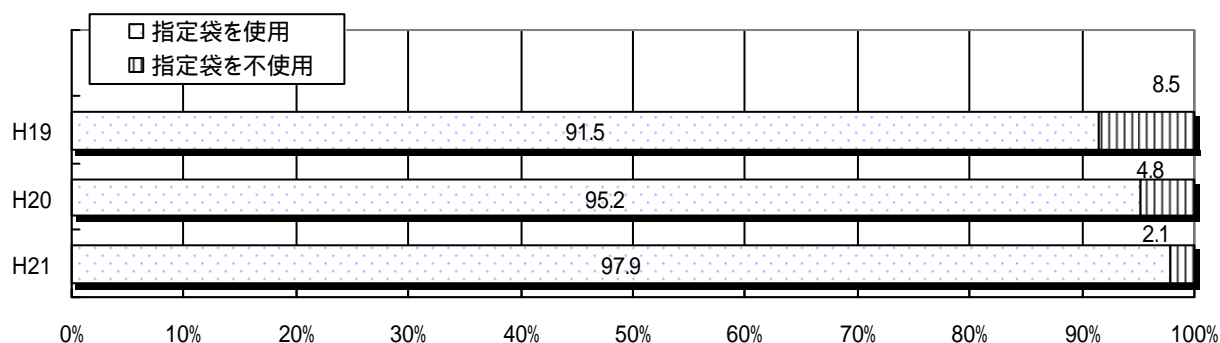


平成 19 年度の調査では、正しい指定袋が使用されている割合が約 80%程度であったものが、家庭ごみ等有料化が導入された平成 20 年度は約 96%、平成 21 年度は約 97.7%が正しい指定袋で排出されており、クリーン仙台推進員及びクリーンメイトの皆さまの日頃の地道な活動とご努力が、着実に実を結んでいる結果となった。

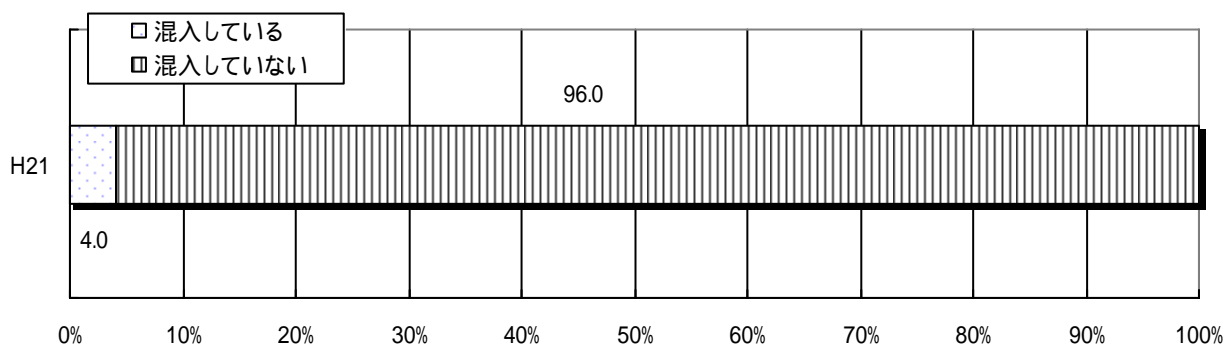


一方、リサイクル可能な資源物が約 3 割以上混入している袋の割合は、平成 20 年度が約 6.4%、平成 21 年度が約 6.7%と改善されていない結果となった。

5 プラスチック製容器包装の排出状況



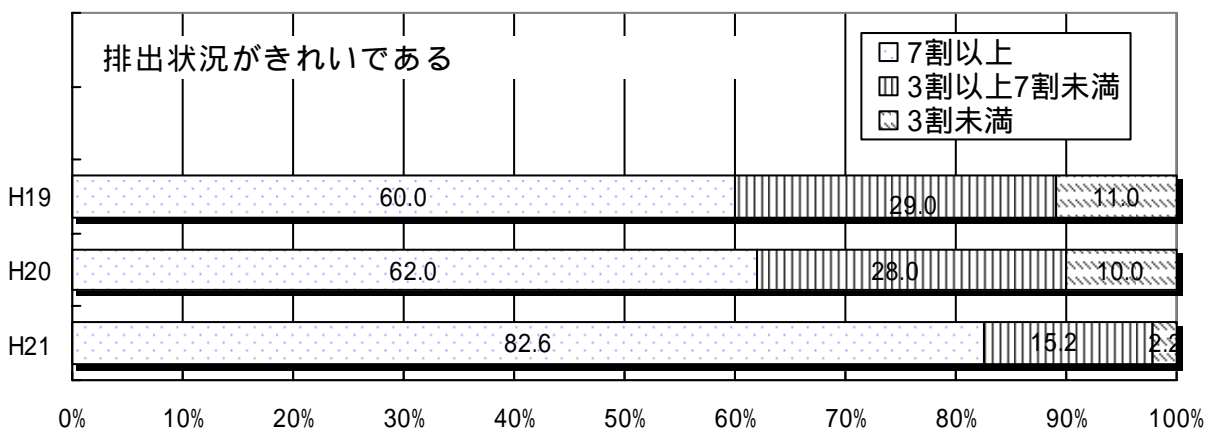
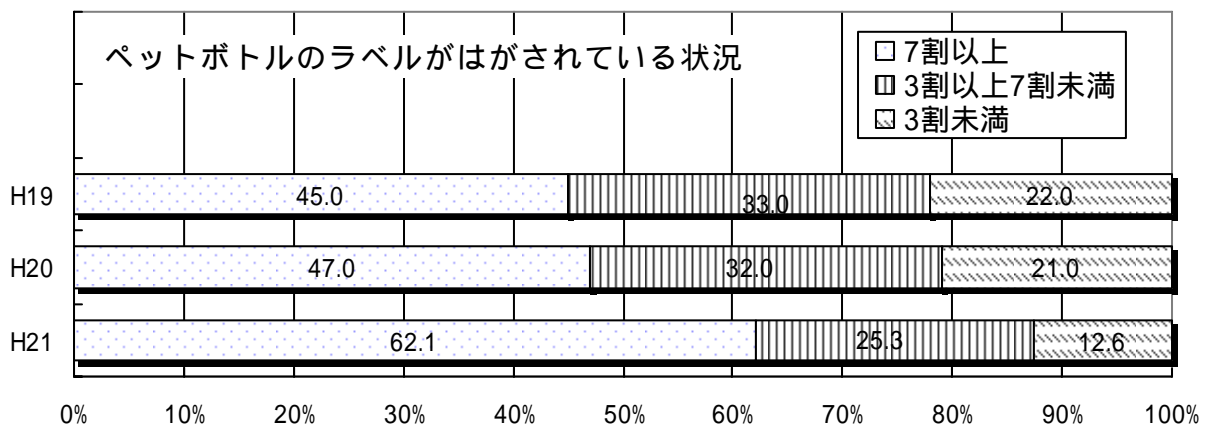
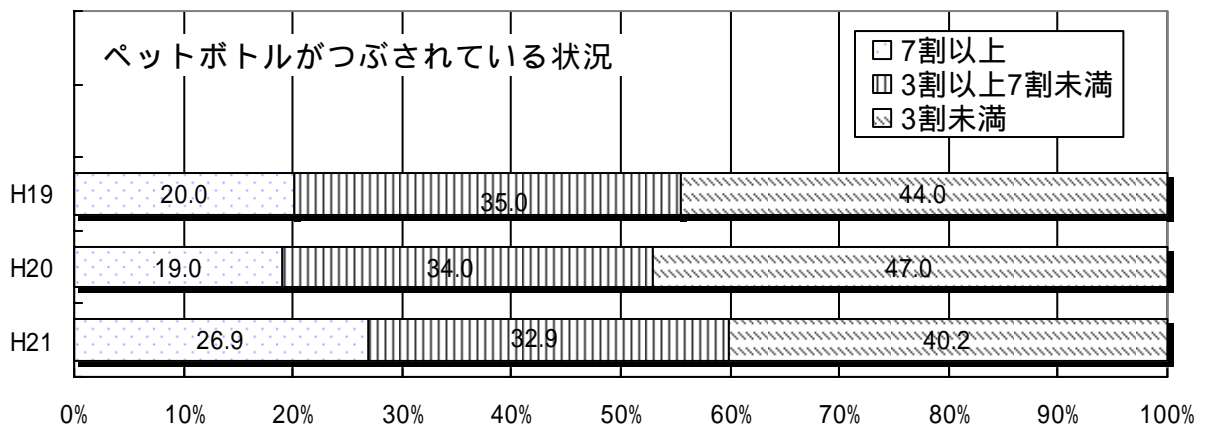
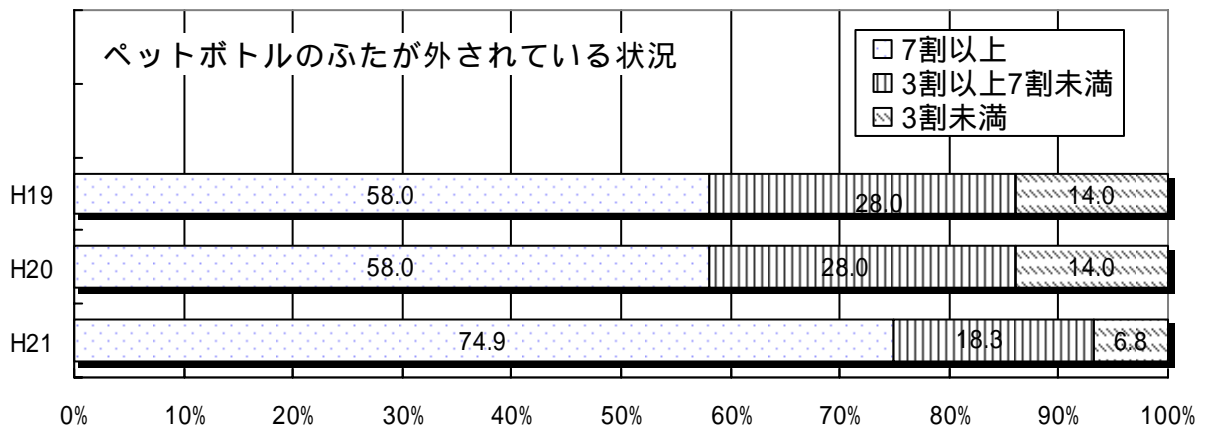
プラスチック製容器包装の排出方法については、一定の定着が図られているが、平成20年度の約95%から3%伸びて約98%が正しい指定袋で排出されている結果となっており、家庭ごみ同様、クリーン仙台推進員及びクリーンメイトの皆さまの活動の成果が表れた結果となった。



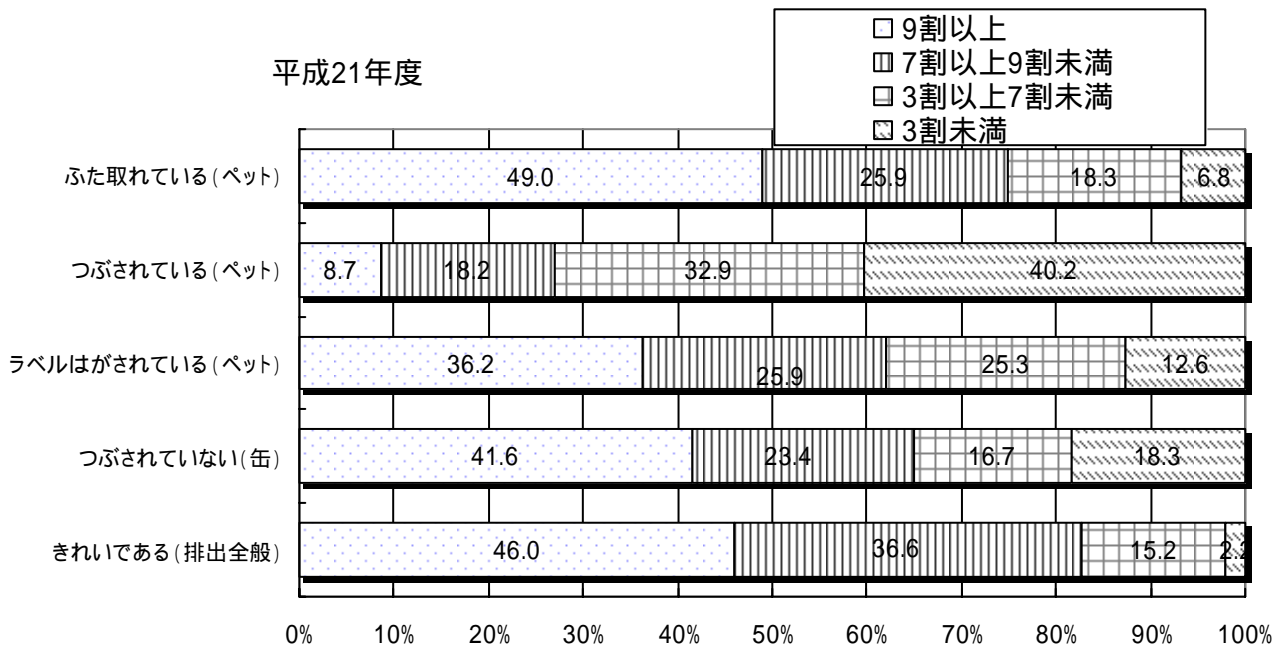
また、昨年度まではプラスチック製容器包装以外の混入の割合が2割以上について、調査していたが、1%に満たない結果であったことから、今年度は「見た目」の混入が認められるプラスチック製容器包装指定袋の個数について調査をお願いした。

全体の96%は適正に排出されたものであったが、4%に何らかの混入が認められる結果となった。

6 缶・びん・ペットボトルの排出状況

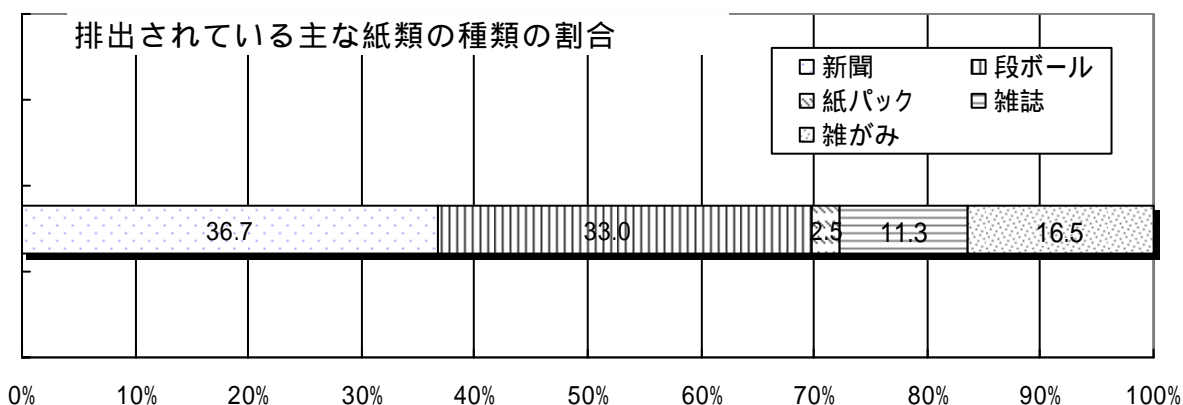
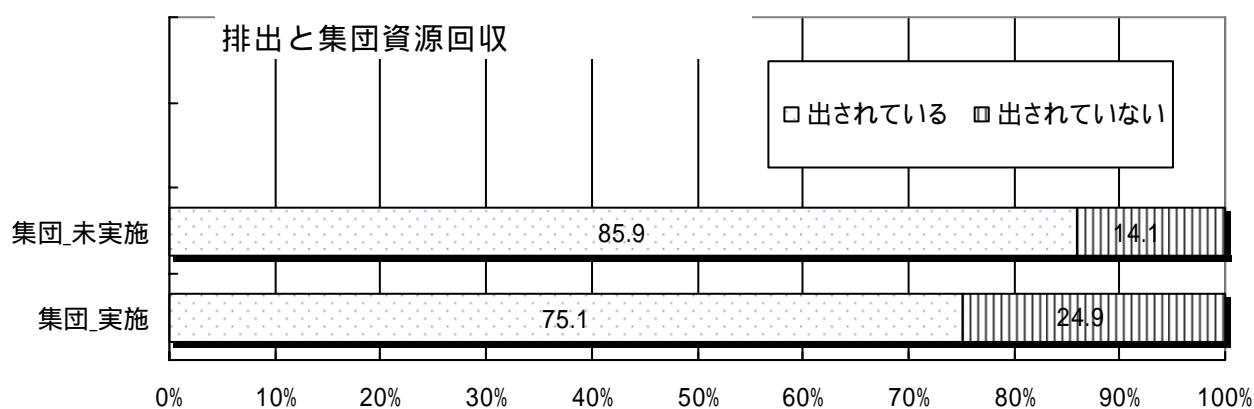
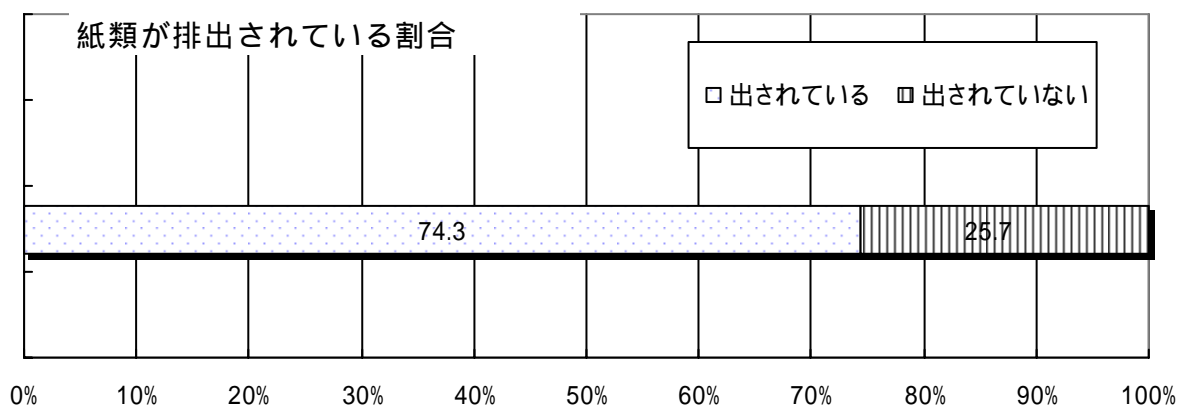


缶・びん・ペットボトルの平成19年度から平成21年度排出状況は、調査項目全てにおいて排出状況に改善が見られた。



平成21年度からは、調査項目全てにおいて新たに、9割以上排出ルールが守られて排出されている割合と、缶を潰さずに排出されている割合を調査対象としたところ、上記の結果となった。

7 紙類の排出状況



平成 20 年 10 月から実施した、紙類定期回収の排出実態調査を今回初めて実施したところ、75.7%の集積所において、収集日に紙類が出されており、実施から 1 年が経過し、制度の定着が図られたことがうかがえる結果となった。

集団資源回収の実施地域では 75.1%の割合で紙類が排出されているが、集団資源回収の未実施地域では 85.9%の高い割合で排出されている結果となった。

ごみ集積所排出実態調査 総括票

調査

町内会名 _____

氏 名 _____

推進員 (_____

注意
これは、平成 21 年度の調査票です。

調査対象の集積所の状況 (右空欄にそれぞれの ~ の該当番号を記入してください。)

1 どんな場所にありますか ----- 路上(交通量多い) 路上(交通量少ない) 歩道上 その他	
2 どんな形状ですか ----- 工作物(ブロック・保管施設等) 工作物なし(ネット等対策有) 工作物なし(ネット等対策無)	
3 どのような方が利用していますか ----- 戸建住宅 共同住宅(家族) 共同住宅(単身者) ~ の混在	
4 利用している世帯数は、どの位ですか ----- 1 ~ 9 世帯 10 ~ 19 世帯 20 ~ 29 世帯 30 世帯以上	

【集積所の状況について、感想や困っていることなどを記入してください】

例 啓発のポスターがほしい など

今回の調査に協力してくれた方々の人数

調査期間中の延べ人数ではなく、実人数を記入してください。

総括表は、11月の調査結果と一緒に返送してください。

_____月分

ごみ集積所排出実態調査票

調査

町内会名 _____

氏 名 _____

推進員 (_____ - _____ - 1 - _____)

注意
これは、平成 21 年度の調査票です。

家庭ごみの排出状況 (右空欄にそれぞれの排出袋等の数を記入してください。)

1 調査日 月 日 () 天気	
2 排出数 (集積所にだされている全ての合計数) ----- 補助用紙を使用した場合は、補助票の 欄の数字を転記してください。	
3 家庭ごみ指定袋を使用していないものの数 (剪定枝・地域清掃用ごみ袋を除く) ----- 補助用紙を使用した場合は、補助票の 欄の数字を転記してください。	
4 リサイクル可能な資源物が混入している袋の数 (概ね 3 割以上の混入) ----- 補助用紙を使用した場合は、補助票の 欄の数字を転記してください。	

1 調査日 月 日 () 天気	
2 排出数 (集積所にだされている全ての合計数) ----- 補助用紙を使用した場合は、補助票の 欄の数字を転記してください。	
3 家庭ごみ指定袋を使用していないものの数 (剪定枝・地域清掃用ごみ袋を除く) ----- 補助用紙を使用した場合は、補助票の 欄の数字を転記してください。	
4 リサイクル可能な資源物が混入している袋の数 (概ね 3 割以上の混入) ----- 補助用紙を使用した場合は、補助票の 欄の数字を転記してください。	

【家庭ごみの排出について、感想や困っていることなどを記入してください】
例 排出ルールが守られない など

プラスチック製容器包装の排出状況 (右空欄にそれぞれの排出袋の数を記入してください。)

1 調査日 月 日 () 天気	
2 排出数 ----- 補助用紙を使用した場合は、補助票の 欄の数字を転記してください。	
3 プラスチック製容器包装指定袋を使用していない袋などの数 ----- 補助用紙を使用した場合は、補助票の 欄の数字を転記してください。	
4 プラスチック製容器包装以外が混入している袋の数 ----- 補助用紙を使用した場合は、補助票の 欄の数字を転記してください。	

裏面につづく

【プラの排出について、感想や困っていることなどを記入してください】

例 排出ルールが守られていない など

注意
これは、平成 21 年度の調査票です。

缶・びん・ペットボトルの排出状況（右空欄に ～ の該当番号を記入してください。）

1	調査日 月 日 () 天気	
2	ペットボトルのふたがはずされている割合は。(全体的に見てどうかを記入してください。)	
	9割以上 7～9割 3～7割 3割以下	
3	ペットボトルのつぶされている割合は。(全体的に見てどうかを記入してください。)	
	9割以上 7～9割 3～7割 3割以下	
4	ペットボトルのラベルがはがされている割合は。(全体的に見てどうかを記入してください。)	
	9割以上 7～9割 3～7割 3割以下	
5	缶のつぶされていない割合は。(全体的に見てどうかを記入してください。)	
	9割以上 7～9割 3～7割 3割以下	
6	資源箱に出されている資源物のきれいな割合は。(全体的に見てどうかを記入してください。)	
	9割以上 7～9割 3～7割 3割以下	

見た目判断してください。

【缶・びん・ペットボトルの排出について、感想や困っていることなどを記入してください】

例 回収容器が不足している など

紙類定期回収の排出状況（右空欄に ～ の該当番号を記入してください。）

1	調査日 月 日 () 天気	
2	収集日における紙類の排出状況	
	出されている 出されていない	
3	一番出されている紙類の種類（2で と回答した場合のみ記入してください。）	
	新聞 段ボール 紙パック 雑誌 雑がみ	
4	あなたの地区の集団資源回収（子ども会などが実施）	
	行っている 行っていない	
5	集積所ステッカーの紙類収集曜日の貼付状況	
	貼付されている 貼付されていない	

【紙類の排出について、感想や困っていることなどを記入してください】

例 種類ごとに分けるのが大変 など